

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	大阪府市医療戦略会議提言の具体的な取組みについて
日 時	平成 27 年 3 月 24 日(火) 10 時 30 分～11 時 05 分
場 所	大阪市役所 会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 上山特別顧問 (職員等)： 大阪府 戦略事業室（副理事、課長補佐、主査） 大阪市 政策企画室（政策調査担当部長、政策調査担当課長、担当係長） 大阪府市大都市局（課長代理）
論 点	・大阪府市医療戦略会議提言の進捗状況及び戦略6「スマートエイジング・シティ」の実現に向けた取組みに対する助言について
主 な 意 見	<p>○全体の進捗管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略の実現には、行政のみならず多様な主体が取組みを行うことが必要。 ・実施主体ごとに取組みを整理することも必要ではないか。 <p>○戦略2「レセプトデータの戦略的活用」に関連する事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府で取組みを実施していることはわかるが、事業全体を通じて、現状や課題について他事例と比較するなど分析をしっかりと行い、明確な目標や取組み方針に沿った計画を作成し、事業を進めるべきではないか。 <p>○戦略3「医療情報の電子化とビッグデータの戦略的活用」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校健診結果の電子化は、住民の利便性が向上し、具体的なメリットを感じられるのではないか。 <p>○戦略6「スマートエイジング・シティ」の実現に向けた取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心部と郊外部では、医療資源や民間事業者による取組みの実施状況等、実現に向けた環境が大きく異なる。基礎自治体の役割が大きいが、人員体制、情報、ノウハウなど、難しいところもあると考えられるため、工夫して支援していくことが必要ではないか。 <p>参考—大阪府市医療戦略会議提言 http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/19411/00000000/teigen.pdf</p>
結 論	・顧問からの助言を参考に、府市において引き続き必要な検討、作業を進める。
説明等資料	
関係部局 (室 課)	